

新成人の皆様へ

新成人の皆様、成人おめでとうございます。また、これまでの二十年間、幾多のご苦労を超えて愛情を注がれてきた家族の皆様に対しましても、心よりお慶び申し上げます。

さて、令和3年甲佐町成人式につきましては、新成人の皆様の門出を祝福できる機会と捉えて、その日を楽しみに、開催に向けた準備を進めてまいりました。

しかしながら、全国的に感染被害が拡大する新型コロナウイルス感染症により、新成人の皆様や町民の皆様の安全を第一と考え、開催を中止するという苦渋の決断を行った次第です。人生で一度きりという、この晴れの日を大変楽しみにされておられたことと存じますが、感染リスクを避けるための止むを得ない判断であったことを、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

現在、コロナ感染の状況もワクチン接種が功を奏した形で、減少傾向が見られ、全国的な制限措置が解除されますが、首都圏を中心にした、度重なる緊急事態宣言の発令等により、国内の経済は大打撃を受けて、全国的にも飲食業や観光業をはじめとして多くの業種において今なお厳しい経営を強いられています。

そういった状況から雇用環境も悪化し、学生さん達の就職活動への影響も非常に懸念される所です。

また行政機関だけでなく医療機関や介護施設においても大変緊張する場面が続いておりますが、町においては、国の「地方創生臨時交付金」等を最大限に活用しながら、できる限りの支援を行いながらこの苦難の時代を町民の皆様と共に乗り切っていきたいと思っております。

それでは、ここで皆様が生まれた二十年前の出来事を少し振り返ってみたいと思っております。平成十二年には、シドニーオリンピックが開催され、高橋尚子選手が女子マラソンで初めて金メダルを獲得されたことが強く印象に残っています。他にも、ゲーム機のプレイステーション2の発売やBSデジタル放送が開始された年でもありました。

また少子高齢化社会の進展から介護保険制度が始まり四十歳以上から保険料を徴収し介護の費用に充てられることとなりました。

そうした時代から二十年が経過して地方においては新たな時代を迎えています。首都圏への人口の一極集中や少子化により、人口減少が加速化し、本町においても、それは例外ではなく、将来的な消滅可能性都市にカウントされています。

しかしながら、そうした事態にならないように、本町においては人口ビジョンと地方創生の総合戦略を策定しながら将来にわたる甲佐町の発展に向けた施策を講じている所です。

現在は、熊本地震からの復興のシンボルとして取り組んだ総合運動公園「Kパークこうさ」をはじめとしてグランピング施設「COMMON IDOE（旧井戸江峡キャンプ場）」や古民家交

流施設「宿屋^{くぐりど} kugurido、^{トラットリア} trattoria ^{サン} SanVito^{ビート}」にみられるように、交流人口・関係人口を増やすことにより移住定住に繋がる施策を拡大しているところです。

そうした施策にも、町内の若い世代の先進的な発想が生かされていることから分かるように、未来の甲佐町を創り出していくのは、紛れもなく皆さんをはじめとした若い世代の人たちだと思います。

新成人の皆様におかれては、町の活性化や地方創生の取組など我が町の未来を創造し、そして近い将来、山紫水明の郷、この甲佐町を若い力で引っ張ってくれる、そんな多くの青年が誕生することを心から期待するものです。

そして月並みな表現になりますが、大きな節目となる二十歳のお祝いを機に、それぞれに課された義務と権利を再認識して大人として精神的にも大きく飛躍する重要な節目としていただきたいと思います。

最後に、これまで大切に守り育てて戴いたご家族や恩師や地域の方々、そして仲間に対して感謝の気持ちを新たにしながら輝かしい未来を見据えて各方面で活躍されることを心から祈念いたします。

甲佐町長 奥 名 克 美